



中学校部会会報

全日本音楽教育研究会

平成30年9月11日発行 通算第76号

今年度もよろしくお願いたします



全日本音楽教育研究会中学校部会長
風見 章 (杉並区立泉南中学校長)

2年任期の後半となった平成30年度。大きな組織改編はありませんでしたが、やはり理事の定年退職が数名あり、新たな理事を迎えてのスタートとなりました。

さて、平成29年度の本会の全事業は全国各支部のご協力のもと、無事に終えることができました。昨年11月1日2日に開催された全国大会・沖縄大会では、全国から多くの参加者を数え、青い海と青い空の下、意欲的な公開授業や沖縄県ならではのプログラムであった研究演奏の記憶を残しながら閉幕しました。沖縄県音楽教育研究会、そして大会実行委員会の皆様のご尽力に深く敬意を表します。また、浦添市でだこホールで開催された中学校部会総会においても、全国各支部の支部長先生や会員の皆様のご協力を得ることができました。心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また、中学校部会の全国理事会は6月22日(金)江東区文化センターにおいて開催されましたが、多くの支部長先生や代理の先生方が校務ご多忙な時期にも関わらずご出席くださいました。心より御礼申し上げます

全国理事会では各支部の情報交換もなされ、支部長先生方におかれては各支部の運営に様々なご苦労があることが再認識されました。どうか、全国各支部の情報を共有して、自地区の運営に役立ていただければ幸いです。また、全国理事会の研修会では、宜野湾市立宜野湾中学校、大山めぐみ先生の授業実践研究発表と文部科学省初等中等教育局教科調査官でいらっしゃる臼井 学先生にご講演をいただきました。お忙しい中のご発表とご講演に心より感謝申し上げます。

すでに皆様にはご承知のこととは存じますが、今年度の全国大会は小学校・中学校の部会大会となります。11月8日(木)9日(金)に和歌山県和歌山市において「のびる・ひろがる・ひびきあう ～実りある音楽の授業～」を大会主題として開催されます。全体会における講演は、東京藝術大学学長でヴァイオリニストでもいらっしゃる澤 和樹先生を講師にお迎えします。

和歌山県は、昭和51年に小中高部会大会を和歌山市で開催されていますが、新しい学習指導要領の移行期間を迎える大きな節目の年に全日音研全国大会を開催されることは大きな意義があると考えております。和歌山県音楽教育研究連盟、大会実行委員の皆様には大変なご苦労をおかけいたしますが、和歌山市で再び全国の先生方にお会いできるのを楽しみにしております。

それでは、皆様方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、今年度も全日本音楽教育研究会中学校部会をよろしくお願いたします。

Contents

- P1 会長あいさつ 全日音研中学校部会長 風見 章
- P2 事務局長あいさつ 事務局長 荒川 徳子 / 全国理事会
- P3 研修会：授業実践発表「歌唱共通教材『花の街』の授業を通して」
沖縄県宜野湾市立宜野湾中学校 教諭 大山めぐみ 先生
講演「中学校学習指導要領改訂のポイント ～移行期におさえておくべきこと～」
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 臼井 学先生
- P4 和歌山大会《小学校・中学校部会》の概要
大会案内・Information

発行

全日本音楽教育研究会 中学校部会

東京都杉並区堀ノ内 1-3-1

杉並区立泉南中学校内

会長 風見 章

音楽教育発展のために



事務局長 荒川 徳子

(清瀬市立清瀬第二中学校長)

今年はいまだに経験したことのない暑さが、日本列島を覆っています。そして7月には西日本豪雨により多くの人命が奪われました。亡くなられた方の冥福をお祈りするとともに被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

中学校部会事務局長として4年目に入りました。風見部会長とともに、全国各支部や他校種部会との連携を深めることはもちろんのこと、全国への迅速な情報発信を行いながら、音楽教育発展のために今年度も精一杯責任を果たしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、中学校部会の全国理事会が6月22日(金)、東京都江東区文化センターにて開催されました。今年度も24支部の支部長先生に出席していただきました。静岡県支部長の山崎 泰之先生と山口県支部長の松田 和寛先生の議事進行のもと、平成29年度事業報告、会計報告、監査報告の審議を行い、承認を得ました。続いて平成30年度の事業計画、予算案の審議も行いましたが、全て承認を得ることができました。その後、会則改正の審議を行いました。これは昨年度、本部の会則改正が行われたことに伴い、中学校部会も会則を見直し、本部が改正案を提案いたしましたが、審議の結果、会則改正も承認されました。これらの内容は11月の全国大会中学校部会総会にて決定いたします。議事終了後、情報交換も行いました。各支部の活動の様子や抱えている課題を共有することができました。この情報交換は貴重な時間となっています。

理事会終了後の研修会では、宜野湾市立宜野湾中学校の大山 めぐみ先生の授業実践研究発表のあと、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の臼井 学先生に「中学校学習指導要領改訂のポイント～移行期におさえておくべきこと～」という演題でご講演いただきました。本当にありがとうございました。

今年度の全国大会が和歌山県で11月8日(木)9日(金)に開催されます。和歌山県の先生方は日々の校務をこなしながら、全国大会成功に向けて、着々と準備を進めていらっしゃいます。どうぞ、11月8日(木)9日(金)の全国大会和歌山大会には全国から多くの先生方が参加され、大会を盛り上げていただきたく、お願い申し上げます。

◆全国理事会◆

日時 : 平成30年6月22日(金) 13:00~14:50

会場 : 江東区文化センター 会議室

司会 : 広報研修部副部長 畑野 茂実



理事会は、小牟田 啓副部会長の開会の言葉で始まった。続いて風見 章部会長より、「各都道府県支部との連携を深めながら、全日本音楽研究会中学校部会としてさらに活動を活発化させていきたい」という挨拶があった。

議事に入り、議長に選出された静岡県の山崎 泰之支部長と山口県の松田 和寛支部長の進行により、平成29年度事業報告、会計報告、会計監査報告、平成30年度役員紹介、基本方針、活動方針、事業計画、予算、会則の改正、表彰者等の審議が行われ、すべて承認された。その後、志村 誠一郎調査研究部長より昨年度の調査研究報告と今年度の調査研究の目的、内容、方法についての説明があった。

続いて各支部の情報交換が行われ、大会案内や重点的な取り組み、研究、研修、学習指導要領改訂を見据えた取り組み等が各支部長より熱く語られた。最後に、平成30年度全国大会「和歌山大会」、平成31年度全国大会「東京大会」の説明があり、木村 一也支部長の閉会の言葉で終了した。

◆ 研修会 ◆

第1部 授業実践研究発表

「歌唱共通教材『花の街』の授業を通して」

沖縄県宜野湾市立宜野湾中学校 教諭 大山 めぐみ 先生



沖縄の人々は、郷土には親しみがあるが、日本の歌、日本の音楽から離れてしまうことがある。生徒の実態としても、日本の歌への定着率が低い。原風景も沖縄とは違いすぎるのである。そこで、導入として郷土の歌「ていんさぐぬ花」を用いて、楽曲に込められた思いや願いに触れさせることで、日本の歌「夏の思い出」から「花の街」へつなげていった。

「花の街」は、終戦後の日本で明るさや平和の象徴として親しまれ、歌い継がれてきた曲である。第1時の授業で、生徒たちに戦後間もない本土の様子を写真で見せ、子どもの思いが変容し、日本の歌への意識が変わっていくのを感じた。そして、作者の思いを理解し、歌詞の内容と旋律の抑揚・高揚感、強弱の変化との関わりに関心させ、曲にふわしい表現の工夫をし、グループで発表した。

主体的・協働的な学びの場を設定し、他者との交流を通じた歌唱共通教材の授業をすることにより、生徒はより興味・関心をもって意欲的に学習に取り組んだ。また、日本の歌、心の歌を歌い継いでいくことの大切さを感じ、曲に対する意識が高くなったことは大きな成果である。今後は「歌い合い」の活動をさらに活発にしていくための授業の工夫や、より思考力・判断力を高めるためのワークシートの改善が必要である。

◆ 研修会 ◆

第2部 講演

「中学校学習指導要領改訂のポイント ～移行期におさえておくべきこと～」

国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 臼井 学 先生



◆ 子供を主語とした授業観 (中教審「答申」から)

- ①何を理解しているか 何ができるか 生きて働く「知識・技能」の習得
- ②理解していること・できることをどう使うか 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

◆ 知識観の共通理解

音楽科における「知識」の種類は次のように様々あるが、①②③を扱いつつ、④の習得を目指すこと

- ①覚えれば分かること
- ②聴き取れば分かること
- ③感じ取れば分かること
- ④学習の過程を経て分かること

◆ 能力構造の再整理

「表現領域及び鑑賞領域の学習」→ ①知識及び技能 ②思考力、判断力、表現力等 ③学びに向かう力、人間性等

◆ 主体的・対話的で深い学び

- ①主体的な学び：学びの見通しをもち、学びを振り返り、次の学びにつなげる
- ②対話的な学び：他者との対話などにより、自分の考えを広げたり深めたりする
- ③深い学び：各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする

<まとめ> ～新学習指導要領における音楽の授業は～

- ①音楽活動を通して行われること
- ②児童生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせることのできるような指導計画になっていること
- ③目標に示す資質・能力(知識及び技能、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)を育成できるようにすること
- ④そのために、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るようにすること

(その際、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりするなど、思考、判断し、表現する一連の過程を大切に学習の充実を図ること)

和歌山大会《小学校・中学校部会》の概要



- ◆ 大会主題 《のびる》《ひろがる》《ひびきあう》 ～実りある音楽の授業～
- ◆ 日程 平成30年11月8日(木)・9日(金)
- ◆ 会場 和歌山市民会館 和歌山県民文化会館 和歌山市立伏虎義務教育学校 他

○1日目 中学校部会 研究主題「一人一人の確かな学びを生かす音楽の授業づくり」 会場：和歌山市民会館

＜研究授業＞ 9:30～11:25 研究協議 11:35～12:30

会場	学校名	題材名	授業者	助言者
市民ホール	和歌山市立楠見中学校 (第1学年 表現・創作)	言葉のもつリズムや抑揚を手がかりに、簡単な旋律をつくろう 『自作の俳句、川柳』	脇田 裕巳	和歌山大学 教授 菅 道子
小ホール	和歌山市立伏虎義務教育学校 (第9学年 表現・歌唱)	情感をこめた歌い方を工夫しよう 『ぜんぶ』	井谷 真奈美	大阪教育大学 特任教授 田中 龍三

＜ワークショップ＞ 14:40～16:40 和歌山市民会館

	会場	講師	講座内容
① 歌唱1	大ホール	若松 歆 氏 田久保 裕一 氏	「合唱の魅力」
② 歌唱2	小ホール	相澤 直人 氏	「楽譜を読む・楽譜の行間を読む」
③ 能楽	第2・第3和室	観世流能楽師 小林 慶三 氏 観世流能楽師 橋本 忠樹 氏	「能楽体験教室」
④ 鑑賞	市民ホール	江田 司 氏	「音楽鑑賞のヒントとアイデア」
⑤ 創作	リハーサル室	田中 健次 氏	「『音楽の力』を知る・感じる・考える」

○2日目 全体会 9:20～13:00 会場：和歌山県民文化会館 大ホール

開会行事・基調提案・研究演奏・指導講評・記念講演・閉会行事

平成30年度 研究大会案内

- 10月25日(木) 26日(金) 九州音楽教育研究大会 熊本大会(熊本市)
- 11月 2日(金) 北海道音楽教育研究大会 釧路大会(釧路市)
- 11月16日(金) 東北音楽教育研究大会 山形・庄内大会(酒田市)
- 11月16日(金) 関東音楽教育研究会 千葉大会(松戸市)
- 11月22日(木) 中国・四国音楽教育研究大会 島根大会(松江市)

Information

全日音研中学校部会ホームページも是非ご覧ください。 <http://zennichionken-jhs.jp/>